

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	平内町			代表者名	船橋 茂久
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総務課	連絡先電話番号	017-755-2111
担当者役職	係長	担当者氏名	田中 友樹	連絡先E-mail	
住所	039-3393 青森県平内町大字小湊字小湊				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	DXに係る全体方針策定等		
概要	どのようにDXに取り組んでいくか、現状の姿やあるべき姿を検討するにあたり、支援を頂きたい。				
支援を求める分野	計画策定支援				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年6月26日	支援・助言(実地)	13時00分	17時00分	
			活動時間(分)	240	
2-2. 派遣場所	会場名	平内町役場 本庁舎		最寄駅	小湊駅
	所在地	青森県東津軽郡平内町大字小湊字小湊63番地		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	大木 一浩
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	DXの全体方針策定に関して、どのような順序で検討すればよいか、また、検討すべきポイントに関し、分かりやすく助言を頂いた。 BPRの推進活動においても、経験や知識から有意義となる助言を頂き、今後の活動に関し、大変参考になった。
アドバイザーへの要望事項	

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	10人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
人数	10	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	○DXの全体方針策定プランの検討について どのような視点により方針を策定すれば良いか不明だった。 ○BPR(主として内部業務)の推進について これまで全庁的な業務改善の実施が行った事がないことから、ノウハウが不足していた。
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	○DXの全体方針策定プランの検討について 住民に対して利便性の高い行政サービスが提供可能となることや、幸福度の向上に寄与する。 職員の満足度が向上し、働きやすい環境を目指す。 ○BPR(主として内部業務)の推進について これまで慣例で行っていた業務の仕方を見直す事で業務の効率化を行い、満足度を向上を目標とする。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<p>○DXの全体方針策定プランの検討について 検討すべき視点やポイントについて説明を頂いた。あるべき姿を定めてから全体方針を策定すれば良いと認識した。策定にあたっては住民の利便性、職員の業務効率、行財政改革の3つのポイントについて説明を受けた。</p> <p>○BPR(主として内部業務)の推進について 直近の業務の課題を整理し、解決策を整理することや、業務量調査について助言を頂いた。</p>	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<p>○DXの全体方針策定プランの検討について 支援を受けるまでは、どのような手順でプランの検討を進めていけばよいか、不明瞭であったが支援を受けた後は、具体的な手順や気をつけるべき点など把握できた。</p> <p>○BPR(主として内部業務)の推進について 業務改善の推進にあたっては、全庁的な業務量調査の前に、現行業務で抱える課題を認識することが優先であることの説明を受け、どのようにBPRを進めていけばよいかの参考となった。今後は課題の認識を行い、優先度を付け、直近で対応できる事項について対応していく。</p>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	内部業務の業務効率化を行うための課題を認識できた。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	<p>○DXの全体方針策定プランの検討について 今後の進め方が明確となった。</p> <p>○BPR(主として内部業務)の推進について どのような点に気をつけていけばよいか明確となった。</p>	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>今後も実施を予定しており、アンケートの実施の必要性を感じないため。</p>	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
4-4. 事業の最終的な目指す姿	<p>・業務の効率化や生産性向上を進め、業務時間を捻出し、住民サービス住民の利便性や行政サービスの維持・向上を目指す。その後、住民の利便性の向上の具体的な手段として、オンライン申請の拡充や書かない窓口システムなどの導入等により、来なくても良い、待ち時間の少ない窓口の在り方を目標とする。</p>	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

